

アル・アクサ洪水第634日目：パレスチナ抵抗勢力はハーン・ユーニスでイスラエルの攻撃に直面する一方、イギリスはパレスチナ支持団体を犯罪化している。

Palestine Chronicle, 2025年7月2日、脇浜義明訳



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

主要事項

- *昨日夜明けからのイスラエルのガザ攻撃で、100人以上のパレスチナ人が死亡し、それより多くの人が負傷した
- *トランプ大統領は来週月曜日（7月7日）にネタニヤフ首相と会談する。
- *ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降イスラエルが殺害したガザのパレスチナ人は57,012人、負傷者は134,592人である。その多くは女性と子どもである。

最新情報

7月3日 12:09am(パレスチナ時間)

*AP通信：ガザで援助物資配給センターを警備する米国民間警備会社は実弾を使用した。無差別銃撃を行い、時には配給を待つパレスチナ人に向けられた。警備員はスタン擲弾や催涙スプレーを日常的に使っている。配給センターは混乱しており、指揮・統制力 (leadership) が欠如している。

*パレスチナ・メディア (医療筋を引用)：地元病院の報告では、今日のイスラエルのガザ回廊各地への空爆で、少なくとも112人のパレスチナ人が死亡し、そのうち25人は援助を求めている人々だった。

7月2日 10:44pm

*米国務省：戦後復興の前にまずガザ停戦を実現することが第一段階であると米政府は繰り返し言ってきた。国務省声明は現在ガザが「人が住めない」状況であることを認め、再建事業にはアラブ諸国の支援が必要になると述べている。

*チャンネル12：ハマスが人質全員解放に合意するなら、ガザのイスラエル軍事行動が終わるであろう。情報筋によると、ハマスが現在の提案に前向きに反応するならば、イスラエルの事務レベルの交渉団がドーハからカイロへ向かうであろう。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告では、今日のイスラエル軍の連続的空爆で、少なくとも108人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・クッズ旅団：我々は、ハーン・ユニス北のアル・カララのクラブ地区付近で、事前に仕掛けていた爆発物を爆発させてイスラエル軍車両を破壊した。

*チャンネル12：トランプ大統領は、明日、最近釈放された米国籍のイスラエル人人質のイダン・アレクサンダーをホワイトハウスに招く予定になっている。

7月2日 10:39 pm

*アクシオス：米政府は、最終的合意が成立しない場合でも、真剣な交渉であるならば、停戦期間を60日間以上に伸ばすことを支持している。イスラエル高官は、現在の交渉が規定された期間に合意を生み出さなくても、米政府は交渉の続行を望んでいると言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍がヌセイラト難民キャンプの人の集まりに爆撃して、パレスチナ人7人が死亡し、他に数十人が負傷した。

*UNFPA：国連人口基金（UNFPA）は、現在のガザの燃料危機のために人道支援活動全体が崩壊する恐れがあり、回廊で基本的に不可欠な活動が出来なくなると警告した。

7月2日 8:46 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルの空爆で、インドネシア病院の院長マルワン・スルタン医師が死亡した。ガザ保健省はイスラエル軍は医療者を意図的に攻撃標的にしていると報告した。

7月2日 8:17 pm

*パレスチナ・クロニクル：スイス公共放送RTSが7月2日に報じたところによると、米国支援のイスラエルのガザ援助物資配給システムの監督する、問題の多いガザ人道財団がジュネーブで解散される予定である。RTSは、スイス連邦財団監督庁（FSA）がジュネーブに拠点を置くガザ人道財団に「正式解散を命じた」と報道し、ガザ人道財団は数か月にわたり問題を起こしてきたと付言した。

*アル・ジャジーラ：英国政府は、パレスチナ・アクションをテロリズム法に基づくテロ組織と規定して、活動禁止にした。これは、パレスチナ・アクションがブライズ・ノートン軍事基地で行った抗議活動を受けての決定である。活動家たちは英国のイスラエルへの武器販売に反対し、戦闘機をスプレーで赤く染めた。内務大臣のイベット・クーパーは抗議活動を「恥ずべき行為」で国家治安への脅威だと言った。この禁止措置が出された議会は、何人かの議員がパレスチナ国家を英国として承認しようという議論をした同じ議会で、英国のパレスチナ政策をめぐって亀裂が深まっていることを浮き彫りにした。議会の外務委員会のミリー・ソーンベリー委員長はパレスチナ人の権利を支持する立場を表明し、英国政府に、フランスと協力してパレスチナ国を承認するように強く求めた。

*ガザ保健省：ガザ保健省の長は、インドネシア病院の院長のマルワン・スルタン医師の死を悼み、彼を偉大な科学者と称した。スルタン医師は家族数人とともにイスラエルの攻撃で殺害された。

*フィナンシャル・タイムズ：米関係筋によれば、イスラエルのロン・デルメル大臣は米政府に、合意に関して、イスラエルは一部の軍のガザ撤退と援助物資配給メカニズムについて妥協する用意があると語った。

*タイムズ・オブ・イスラエル：イスラエル民主主義研究所が行った最新世論調査によれば、ネタニヤフ首相を信頼する国民は40%にすぎない。

*イスラエル民間防衛隊：ガザ周辺地上空でロケット2発が迎撃された。ステロトとイビムで警戒警報が鳴った。

*パレスチナ・メディア：ガザ市のアル・ザイトゥーン地区の避難民を収容している建物への攻撃で、17人のパレスチナ人が死亡した。そのほとんどが子どもと女性である。

*アル・ジャジーラ：イスラエル無人機がガザ市で救援活動を行っている市民防衛団を攻撃した。

*イスラエル軍：ガザ回廊北部の戦闘で、第82機甲大隊の軍曹が死亡し、また他に精鋭部隊「エゴス」の戦車指揮官と兵士ら3人が負傷した。

7月2日 6:18 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは1967年の6日戦争以降確実に戦略的衰退が見られるにも関わらず、無法な残虐行為で自ら作り出した問題への解決策として、依然と戦争に固執している。ジェレミー・ソルト教授の論文を読みたい。(Jeremy Salt, "From the Six-Day War to the 12=Day War: Israel's Military Decline", Palestine Chronicle, July 2, 2025)

*CBS：イスラエル情報筋によれば、ネタニヤフ政府は米国の停戦提案へ賛同した。

*パレスチナ・メディア：ガザの医療筋からの報告によれば、ガザ回廊各地の援助物資配給センターで配給を待っていた人々への銃撃で、今日、11人のパレスチナ人が死亡した。

7月2日 5:31 pm

*パレスチナ・クロニクル：アルゼンチンのメディアの報道によると、ブエノスアイレス空港でパレスチナ人家族5人が24時間以上拘束された後、強制送還された。このパレスチナ家族はベツレヘム出身で、西岸地区からヨルダンへ向かい、ヨルダンからイスタンブール、ブラジルを経由して、6月16日にエサイサ空港（ブエノスアイレス空港）に着いた。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告によると、今日早朝からのイスラエル軍のガザ各地への空爆でパレスチナ人67人が死亡した。

*UNRWA：ガザの人々は飢えで消耗している、我々は国連メカニズムによる援助物資供給の再開を求める。飢饉を止める緊急の取り組みが必要である。

*イスラエル・メディア：パレスチナ抵抗勢力との銃撃戦が3件発生し、イスラエル兵1人が死亡し、5人が負傷した。1件はシュザイヤ地区で起き、2件については報道管制で報道できない。

*アル・カッサム旅団：我々の戦士が、ハーン・ユニス東のアル・ザナ地区の敵の補給ルート路上で、メルカヴァ戦車を爆発物で攻撃した。

7月2日 4:49 pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・クッズ旅団が率いるパレスチナ抵抗勢力等は、今日、ガザ回廊各地でイスラエル軍に対する一連の複合的な合同作戦を実施し、敵兵を多数死傷させたと発表した。イスラエルのメディアは、ガザで「困難なセキュリティ事件」が発生して、複数の兵士が死傷したと報道した。

*スイス政府：スイス政府は、法的欠陥を理由にガザ人道財団ジュネーブ支部の解散手続きを開始した。

*ハマス声明：仲介者は我々とイスラエル・米の間の主張の溝を埋めて、新たな交渉ラウンドの枠組み合意に向けて、努力をしている。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の院長は、イスラエル空爆で死亡したインドネシア病院の院長の死は、ガザの医療人を意図的に狙ったイスラエルの暗殺の一例だと言った。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は人質全員を取り返し、ハマスを絶滅させると誓った。彼は、「ハマス・スターン」（ハマスの国）の時代は終わったと宣言した。

*イスラエル軍：軍は、治安状況の再評価を受けて、ガザ周辺のイスラエルの町々から「封鎖軍事地域」をなくすと発表した。

7月2日 4:15 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日のイラン・メディアの報道によれば、イランのマスード・ペゼシュキアン大統領はイランは今後国際原子力機関（IAEA）との協力を停止する法律を正式批准したと発表した。これは、イスラエル・米国がイランの核施設、軍事施設、民間施設への12日間の爆撃に関して、IAEAが何も言わず、それに加担している兆候を見せたことへの処置である。この法律はまた、IAEA査察官のイラン入国の禁止、核施設への監視カメラ設置も禁止している。

*ガザ革命裁判所：ネタニヤフから兵器と資金の供給を受け、人道支援トラックを略奪し、ハマスに抵抗する犯罪組織のリーダーの、ラファ出身のヤセル・アブ・シャバブに、ガザ裁判所は10日以内に自首することを命じた。シャバブは3

件の刑事訴追を受けている。出廷しない場合、逃亡者と扱われる。裁判所は彼の居場所を知っている者に通報を促し、知っていて通報しない者は逃亡者ほう助の罪で起訴されると言った。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院の報告によれば、インドネシア病院のマルワン・スルタン院長がイスラエル軍のガザ市西部への空爆で死亡した。

*イスラエル軍ラジオ放送：2023年10月以降初めて軍はガザ周辺地域のすべての町から「封鎖軍事地域」指定を解除した。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告によれば、イスラエル無人機がハーン・ユーニス中部を攻撃し、パレスチナ人1人が死亡、数人が負傷した。

*イスラエル・メディア：今日早朝、ガザでセキュリティ事件が2件生じた。詳細は発表されていないが、抵抗勢力の活動が続いていて、緊張が高まっている。

*パレスチナ・メディア：今日、継続しているイスラエル軍のガザ爆撃で、少なくとも43人のパレスチナ人が死亡した。3月にイスラエルが軍事行動をエスカレートしてからの死者は6,300人を超え、負傷者は22,000人以上になった。そのうち、米国・イスラエル管理の援助物資センター付近で殺害された者は600人である。

*イスラエル・メディア：イスラエルのヤリブ・レビン法務大臣は入植者指導者のヨッシ・ダガンとの会談で、西岸地区に対して「主権を示す時が来た」と言った。レビンは、それを「歴史的機会」と呼んで、イスラエル政治の最優先課題にするべきだと主張した。

7月2日 12:50 pm

*アル・クッズ旅団：我らの戦士が、ハーン・ユーニス上空で情報収集活動をしていたイスラエルの無人偵察機を捕獲した。

*イスラエル・メディア：報道機関はガザで詳細不明の「重大事件」が生じたと伝えるが、内容は報道されない。

*イスラエル・メディア：精鋭部隊エゴズのイスラエル兵がガザで狙撃されて死亡した。

*イスラエル・メディア：ガザでイスラエル戦車の間近で自家製爆発物が破裂し、4人の兵士が負傷した。チャンネル12は、こういう攻撃でこの1週間で20人のイスラエル兵が死亡し、これは最近では最大の犠牲者数だと報じた。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は訪米予定を理由に自分の裁判の延期を求め、検察庁はそれを認めた。

*パレスチナ・クロニクル：「占領経済からジェノサイド経済へ」と題するアルバネーゼ国連特別報道官の報告は、イスラエルの入植・植民地主義事業と現在のガザ・ジェノサイドへの企業の関与を痛烈に非難し、民間企業と国営企業がアパルトヘイト、戦争犯罪、ジェノサイドを助長していることを指摘している。これに対し、米国国連代表は異例な反応をし、アルバネーゼの解任を公然と求め、彼女を「敵意に満ちた反ユダヤ主義者」「テロ支援者」と決めつけ、「世界中の国々を標的にした経済戦争キャンペーンを開始した」と非難した。

7月2日 11:52 am

*イスラエル・メディア：イスラエルのギデオン・サール外相は、現在の捕虜交換合意提案を政府と国民の大多数が支持しているので、行動に移ることを急かした。

*イスラエル軍ラジオ放送：元モサド副長官のラム・ベン・バラクはネタニヤフ首相に、躊躇せずに捕虜交換交渉を進めよと勧告した。

*アル・ジャジーラ：野党指導者ヤイル・ラピッドはネタニヤフに、捕虜交換取引に関しては十分に支持するから、事を進めよといった。そして、戦争終結の必要性を強調した。

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省のマルワン・アル・ハムス医師は、子どもの間に髄膜炎が増加していることを挙げ、ナセル病院の燃料が枯渇した場合の大惨事を警告した。

*ガザ政府メディア・オフィス：メディア・オフィスは援助物資を待つ民間人を攻撃目標にしているとして、イスラエルとガザ人道財団を非難した。全面的な国際的調査を要望し、ガザ人道財団を中立の機関に置き換えることを求めた。

*パレスチナ・メディア：今日明け方からのイスラエルのガザ回廊爆撃で、少なくとも32人のパレスチナ人が死亡した。そのうち24人はハーン・ユーニスの死者である。

7月2日 10:00 am

*アル・ジャジーラ：医療筋の報告によれば、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフへのイスラエルの空爆で、子どもを含む5人のパレスチナ人が死亡した。

*UNRWA：ガザでは飢えと渇きで人々が路上で倒れている。飲料水がないのだ。一刻も早く国連主導の援助物資配給に戻することを要求する。

*パレスチナ・メディア：デイル・アル・バラフの人だまりをイスラエル軍が攻撃し、子どもを含む4人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：ハーン・ユーニス西の避難民テントをイスラエル無人機が攻撃し、1世帯のうち6人の家人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：今朝からのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆で、少なくとも13人のパレスチナ人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：ガザ市東部のアットゥファーフ地区の民家をイスラエル軍が攻撃し、子ども2人を含む4人が死亡した。

*イスラエル・メディア：ハアレッツ紙が発表した世論調査では、ネタニヤフ首相をまったく信頼していなか、ほとんど信頼していない人は46%で、イスラエル・カッツ国防大臣を信頼すると答えた人は40%未満だった。

7月2日 8:50am

*アル・ジャジーラ：国連の報告によると、イスラエルは、避難命令を発令して、軍事行動を激化し、少なくとも1,500世帯が北部とガザ市東部から避難した。

7月2日 8:49am

*パレスチナ・メディア：バプティスト病院の報告によれば、イスラエル軍のガザ市東部のアットゥファーフ地区の民家への空爆で、子ども2人を含む4人が死亡した。

7月2日 8:47am

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告では、今日明け方からのイスラエル軍のガザ回廊攻撃で13人のパレスチナ人が死亡した。先ほどガザ保健省が、3月18日にイスラエルが停戦を破って戦争を再開してからの死者は6,315人で、負傷者は22,064人となったと発表した。

7月2日 4:00am

*クッズ・ニュース：ガザ各地、とりわけガザ市東部に砲撃と空爆が続いているという報告がある。

7月2日 3:27am

*アル・ジャジーラ（アクシオスの報道を引用）：イスラエル政府筋：デルメルはウィコフに、イスラエルがカタール提案を受け入れると言った。イスラエル政府筋：デルメルはウィコフに、最終的合意を達成するためにハマスとの間接交渉を始めると言った。米国筋：我々は意見交換のために会談した。我々の目標はイスラエルに同意させることで、それは達成できた。

7月2日 3:24am

*パレスチナ・メディア：デイル・アル・バラフのアル・アクサ殉教者病院の報告では、病院近くの避難民テントをイスラエル無人機が攻撃し、10人が負傷した。ガザ市北西部のアル・カラマ地区をイスラエル無人機が銃撃、多数のパレスチナ人が負傷した。救急隊の報告では、ガザ市北東部のヤファ通りにある住宅をイスラエル軍が攻撃し、多くの死傷者が出た。

7月2日 2:06am

*パレスチナ・メディア：ハーン・ユーニス西のアル・マワシ地区の避難民テントをイスラエル軍が爆撃しアブ・リズク家の家族が死亡した。ハーン・ユーニス市中部のジャセル・ビル付近をイスラエル軍が爆撃し、ユスフ・ミクダドとイブラヒム・ミクダドが死亡した。

7月2日 1:59am

*アル・ジャジーラ：行方不明者・強制失踪者に関するパレスチナ・センターのコーディネーターはアル・ジャジーラに対して次のように語った。「国際機関はガザの行方不明者問題に関して真剣な姿勢ではない。国際機関はイスラエル占領軍に対し実質的な圧力をかけていない。占領軍は強制失踪という犯罪に責任を負う。我々のもとには行方不明者の家族から数

千件の報告を受けている。特に多いのは援助物資配給所付近での行方不明だ。我々は戦争による行方不明者に関するデータベースを構築している。」

7月2日 1:56am

*アル・ジャジーラ（トランプの発言を引用）：私の代表団が、今日、イスラエル側と長時間にわたってガザ問題を協議した。イスラエルは60日間の停戦を決定するうえで必要な条件に同意した。停戦中にイスラエルはすべての関係者と協力して戦争終結を目指す。状況改善どころか悪化する可能性もあるので、ハマスが合意の枠組みを受け入れることを望む。カタールとエジプトが、ガザ戦争終結に向けた最終提案を提出する。カタールとエジプトはガザの平和をもたらそうと精力的に奮闘してきた。

7月2日 1:52am

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、イスラエル軍がハーン・ユーニス市中部の人混みと同市西のアル・マワシ地区の避難民テントへの砲撃で、6人が死亡した。

7月2日 12:28am

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ回廊全域、とりわけガザ市とハーン・ユーニス市を爆撃し、ファイア・ベルトにした。

*ヤヒア・サリー：アンサールツラ軍事部門報道官のヤヒア・サリーは、アンサールツラが占領地ヤッファ（テルアビブ）のロッド空港（ベン・グリオン空港）へ向けて弾道ミサイルを発射したと発表した。このため空港の機能が停止、大量避難があったと、彼は言った。

7月1日 11:57pm

*パレスチナ・クロニクル：イエメンからのミサイル発射の後、イスラエルはそれを迎撃し、仕返しを誓ったと報道された。米国大使はイエメンへの空爆を示唆した。

7月1日 11:31pm

*SNS：イスラエル・カッツ国防大臣はSNSで、イスラエル軍が迎撃したミサイルを発射したイエメンのフーシ派を攻撃すると誓った。「我々は蛇の頭のイランを撃った。今度はフーシ派を撃つ。サナアの運命はテヘランと同じ運命になるだろう」と書いた。

*アル・ジャジーラ：スペインのホセ・マヌエル・アルバレス外相はガザが開発資金国際会議（IFD）の中心議題だと述べた。彼は、戦争終結を呼びかけ、イスラエルの行動を「ガザを巨大墓場にする」ことを狙ったもので、国際法違反だと言った。

*アル・カッサム旅団：我々はハーン・ユーニスからQ20ロケットをニール・イツハク入植地とミヴタヒム入植地へ発射した。両入植地にはイスラエル軍車両が常駐している。

*ガザ革命裁判所：ガザの革命裁判所は、イスラエル支援の民兵組織の指導者ヤセル・アブ・シャバブに対し、反逆罪を含む複数の容疑で裁判を受けるため、10日以内に自首するよう命じ、期限内に自首しない場合は欠席裁判で審理されることになった。

*アル・ジャジーラ：米国は再びアントニオ・グテーレス国連事務総長に、パレスチナの人権状況に関する国連特別報告者のフランチェスカ・アルバネーゼを解任することを求めた。アメリカは、彼女のガザにおけるイスラエルの行動を非難する言葉は反ユダヤ主義で、テロリズムを支援するものだ、と主張している。

*アル・アクサTV：イスラエル軍戦闘機群がガザ市東部のアル・ザイトゥーン地区を爆撃し、ファイア・ベルトを作り出した。

*アナドル通信社：イスラエル軍はネツァリム回廊付近で援助物資配給を待っていた民間人を襲撃し、11人を殺害し、少なくとも84人を負傷させた。

7月1日 10:13pm

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊内の病院の報告によれば、今朝からのイスラエル軍の攻撃で109人が死亡した。そのうち28人が援助物資配給を待っていた民間人である。

*イスラエル・メディア：全閣僚による安全保障会議を7月5日の夜に開いて、捕虜交換交渉の進展について協議する。チャンネル12は、ネタニヤフ首相が訪米前にハマスの合意の成立を目指していると報じた。

*アクシオス（政府高官を引用）：仲介国カタールは、人質交渉を進展させ停戦を実現するための修正案をイスラエルとハマスの提示した。修正案といっても内容面の修正というより文言の修正である。ハマスはまだ返事をしていない。

*チャンネル12（イスラエル高官を引用）：数日中に「大きな進展」が生じて人質交渉が再開されるだろう。イスラエルがそれまで拒否していた条件を受け入れる姿勢を見せたからだ。これは、ネタニヤフとトランプの会談をひかえて、米国とカタールが圧力をかけて生まれた変化である。

*ガザ市民防衛団：ガザのアットゥファーフ地区への爆撃で25人以上の人が瓦礫の下敷きで行方不明である。救急隊は爆撃が続いているので現場に行けないと言っている。

7月1日 10:02 pm

*パレスチナ・クロニクル：昨日、クネセト（議会）の委員会は、パレスチナ人囚人の釈放を歓迎する発言をしたとして、ハダシュ党首のパレスチナ系議員アイマン・オデの弾劾を可決した。